

2024年08月

中医学の「八綱弁証」及び臨床応用

上海中医薬大学付属日本校 陳 雷

一、八綱弁証とは

(一) 概念定義

- 証 発病のある段階における疾病の原因、部位、性質及び正邪の盛衰などの病理状態を概括するもの。
- 弁証 証を弁別すること。
- 八綱弁証 八つの綱目に基いて証型を帰納すること。

定義：

複雑な病状を陰陽・表裏・寒熱・虚実という四対八方面の綱目に帰納でき、疾病の要点を探し出し、要領を掴み、類型を確定し、進展を予見し、治療に方向性を指し示すこと。

(二) 内容 四対八方面

- 陰陽弁証**（陰と陽） 疾病の類別を弁別する。
表裏弁証（表と裏） 疾病の部位を弁別する。
虚実弁証（虚と実） 正邪盛衰の状態を弁別する。
寒熱弁証（寒と熱） 発病状態の性質を弁別する。

(三) 意義

全面かつ簡約的に病人の状態を把握する。

○疾病の要点を掴む。○類型を確定する。○進展を予見する。○治療を指導する。

(四) 他の弁証法との関連

- ほかの弁証法の基礎
- 各科の疾患診療に指導する綱領

二、八綱弁証の臨床応用

(一) 診断方面の応用（弁証の要点）

- 陰陽弁証の要点
 - ①一般的な陰陽弁証
 - ②真陰真陽弁証
 - ③亡陰亡陽弁証
- 虚邪弁証の要点

①一般的な虚実弁証 ②虚実弁証の注意事項

3. 表裏弁証の要点

①一般的な表裏弁証 ②表裏弁証の注意事項

4. 寒熱弁証の要点

①一般的な寒熱弁証 ②寒熱弁証の注意事項

(二) 治療方面の応用

1. 治療原則の制定

表証 → 解表法 裏証 → 瀉裏法

虚証 → 補法 実証 → 瀉法

寒証 → 温熱法 熱証 → 清泄法

2. 治療実施の指導

専門の方 ・方薬療法 ・鍼灸療法 ・推拿療法

一般の方 健康管理（運動・睡眠・飲食・起居）